

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	e-キッズひろば尾ノ上				公表日	3月31日2025年
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	100%				
	2	100%		その都度利用児を確認し配置している。		
	3	20%	80%		車イスでのトイレ使用が十分でない点や、特性に応じた配慮が必要な点など今後も検討していきたい。	
	4	100%		マットや畳、椅子の場所など活動によって取り組む場所を分けて活動している。		
	5	60%	40%	様々な特性を持つ子供たちがいるのでパーティション等で状況に応じて対応している。	構造上個別スペースを確保することが難しい為、今後も工夫していきたい。	
業務改善	6	80%	20%		ミーティング等で意見交換できる機会を増やしていきたい。	
	7	100%			今回が初めてなので、継続する点や改善点などミーティング等で共有していきたい。	
	8	100%		常にスタッフ間で意見を出し合って業務改善につなげている。		
	9		100%		現在、第三者による外部評価は行っていないが必要性を検討する。	
	10	100%		外部研修をスタッフと共有し、内部でも定期的に研修をしている。		
適切な支	11	100%		個々に合わせたプログラムを作成し公表している。		
	12	100%				
	13	100%		個々に対し、スタッフで意見を出し合い検討している。		
	14	100%		スタッフ間で共有出来ている。		
	15	100%		フォーマル及びインフォーマルアセスメントいずれも出来ている。		
	16	100%		ガイドラインに沿った支援計画をたてている。		
	17	60%	40%		特定のスタッフが中心となっているので、チームで取り組めるようにしていきたい。	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		子供の様子やその日の状態に合わせて、活動内容を考え作成している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			計画はしているが特性によっては改善が必要な点もあるので検討していきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	朝礼で1日の流れや活動の確認をしている。	朝礼に参加しないスタッフにも共有していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		100%		送迎等でスタッフが揃わないので、朝礼で共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	記録は毎日取り保存している。	記録の振り返りもミーティングで取り入れていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	80%	20%		子供が選べる選択・力をつけるよう徹底しているが、スタッフ全員が周知できるようミーティングや研修をしていきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		月に一度、協力医療機関の医師が訪問し、アドバイスや助言をもらっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		送迎時、その日の子供の状況や家庭の様子などをその都度共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		相談員を通じ情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		100%		まだ卒業した子供がいないが、対象者がいたら情報共有していく予定。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	60%	40%	児童発達支援センター主催の外部研修に参加している。	研修を受講したスタッフがミーティング等で研修内容を共有していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100%		今後検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		100%		機会があれば参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時、子供の状況や様子などをその都度共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		100%		今後検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		面談やモニタリング及び相談等でヒアリングし支援計画に活かしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		面談等で同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		連絡帳や送迎時に、助言やアドバイスを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		100%		今後検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		最低でも月に1回、活動の様子を写真や動画で発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		今後要望があれば検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		勉強会や研修等で周知できている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		災害を想定し、避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		契約時に保護者へ確認し、スタッフへの共有も徹底している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		契約時に保護者へ確認し、スタッフへの共有も徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ミーティング等で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		定期的に研修を取り入れている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%				